

三一五番

息いきの緒をに 我あが息いきづきし 妹いもすらを 人妻ひとつまなりと  
聞きけば悲かなしも

三一六番

我わが故ゆゑに いたくなわびそ 後のちつひに 逢あはじと  
言いひし こともあらなくに

三一七番

門かど立てて 戸ともさしたるを いづくゆか 妹いもが入い  
り来きて 夢いめに見みえつる

三一八番

門かど立てて 戸とはさしたれど 盗人ぬすびとの 掘ほれる穴あなよ  
り 入いりて見みえけむ